

先行技術文献を見つけるための 特許調査の実施プロセスとポイント

趣旨

特許出願戦略において、「量から質への転換」が求められる中、出願検討時における先行技術調査が重要視されています。調査に時間をかけてしまっただけでは、先願の地位を逃してしまいますし、的外れな調査では的確な先行技術を把握できません。つまり、特許出願前の先行技術調査には迅速性と正確性が要求されます。

本セミナーでは、効率的かつ正確に先行技術文献を見つけるための「検索式立案テクニック」を解説するとともに、実際に拒絶理由に用いられた引例をヒットさせるためのコツを学ぶための「検索事例研究」により得られた知見をご紹介します。

日時 2014年11月11日(火) 10:30~16:00

主催 (株)R&D支援センター

会場 大阪市立中央会館 2F 第5会議室【大阪・中央区】

定員:30名

受講料 49,980円 *昼食・資料付

*満席になりましたら、締め切らせていただきます。

(税込) ※会員登録(無料)をしていない方には上記の割引・特典を適用しません。早めにお申し込みください。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名様同時申込の場合、2人目無料(2名で9,980円)になります。

*大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

このセミナーの

申込受付は終了しました

プログラム

1. 特許調査の実施プロセスとポイント

- (1) 特許調査を漁業に例えると
- (2) 情報検索の考え方
- (3) 特許調査の種類と目的
- (4) 特許調査の実施プロセス
- (5) 調査主題の把握
- (6) ポイントの抽出
- (7) 予備検索(プレサーチ)
- (8) 検索式の策定
- (9) 本検索とスクリーニング
- (10) 関連公報の抽出
- (11) 報告書の作成

2. 検索タームとしての特許分類

- (1) 国際特許分類
- (2) FI(ファイル・インデックス)
- (3) Fターム
- (4) IPC・FI・Fタームの関係
- (5) パテントマップガイダンス

3. 検索事例研究

- (1) 検索式作成失敗事例 1~4
- (2) 先行技術調査の検索事例研究 1~3

『先行技術特許調査』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 ・お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。 ・Eメールまたは郵送でセミナー・書籍の情報のご案内をお送りします。 ・ご案内は(株)R&D支援センターおよびS&T出版(株)からお送りします。			
		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-3599-5811)へご一報下さい。

■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。